
報告書

-AMSC UK-

2021/7/5~7/11 online



(0)目次

(1)会議概要

(2)スケジュール

(3)プログラム別報告

(4)感想

(1)会議概要

会議名称

Asian Medical Students' Conference 2021 in UK

開催地

Zoom

開催期間

2021 年 7 月 5 日～7 月 11 日

テーマ

“ Trauma Care: same problems with different slutions”

参加者:

防衛医科大学校医学科 5 年 原鈴枝

高知大学医学部医学科 5 年 田中 香

自治医科大学医学部医学科 5 年 加藤直人

東海大学 3 年 大川里紗

佐賀大学医学部医学科 4 年 南 宏太

(2) スケジュール

	Day1 July 5 (Mon)	Day 2 July 6 (Tues)	Day 3 July 7 (Wed)	Day 4 July 8 (Thu)	Day 5 July 9 (Fri)	Day 6 July 10 (Sat)	Day 7 July 11 (Sun)
0700 ~ 0800	Welcome speech (0700-0710) Transition (0710-0715)						JAMSA International Journal Club Meeting (0830-0750)
	AMSA International (0715-0745) Transition (0745-0800)						
0800 ~ 0900	Flag Ceremony (0800-0805) Transition (0805-0810) Networking (0810-0855)						Closing Remarks (Sarah) (0800-0810) Transition (0810-0815)
	Break (0850-0900)						Prizes (Sarah) and Post Conference Quiz (0815-0900)
0900 ~ 1000	Academic Competitions 0905-0920 Intro, 0920-1040 Paper QnA, 1040-1060 Break, 1050-1130 Poster QnA, 1130-1200 Break, 1200-1220 White Paper QnA, 1220-1230 Closing	Mr Park keynote lecture + QnA (0900-1000)	Lecture 2 (Mr. Gazi) (0900-1040)	Cultural Workshop Afternoon Tea / Miscology	Lecture 3 (Mr. Gazi, Presentation) (0900-1040)	***Group Project Final Preparation (0900-0915)	David Nott Foundation Videos Screening - Partner Charity (0900-0930)
		Transition (1015-1030)					EAMSC 2022 (0930-0945)
1000 ~ 1100		Games (1030-1200)	Lecture 2 QnA (1040-1100)		Transition	***Group Project 10 Min Presentation+3 Min QnA per group (0915-1130)	Closing Remarks (Sa-Bin) (0945-1015)
			London Tour (1100-1200)	Northern Ireland/Scotland Tour (1100-1200)	Out of London Tour (1100-1200)		Group RC Meeting (1500-1530)
1100 ~ 1200							
1200 ~ 1300		Lunch (1200-1300)	Lunch (1200-1300)	Lunch (1200-1300)	Lunch (1200-1300)	Break (1130-1345)	
1300 ~ 1400		Lecture 1 (Mr. Samir) (1330-1430)	Body Interact (Sponsorship) (1300-1500)	Kaplan (1300-1330)	Group Project (1300-1500)		
	***UK quiz (1400-1410) UK answer presentation (1410-1425) Transition (1425-1430)	Lecture 1 QnA (1430-1415)		Amboss LIVE (1330-1400)		***Cultural Night	
1400 ~ 1500		Lecturio LIVE (Sponsorship) (1415-1445)		Group Project (1400-1500)			
	***Group Project Brief (1430-1520)	Transition (1445-1500)					
1500 ~ 1600		Networking (1500-)	RC Meeting (1500-1530)				

(3) プログラム別報告

DAY2

- ・ Keynote Lecture, Lecture1

今回の国際会議テーマである外傷について、2人の先生方からの講義がありました。イギリスの先生に教えていただける機会はなかなかないため、貴重な時間となりました。学生からの質問もたくさん上がり、核心をついた質問が多く刺激を受けました。

- ・ Group Games

私の班では、オンラインでお絵描きするゲームをしました。1人が3つの単語から1つ選んでその単語を表す絵を描き、他のメンバーがその単語を想像して当てる、という一連のターンを交代で行い、答えるスピードの速さなどで点数が上がっていくものでした。皆がよく知らない単語や、描くのが難しいものもありましたが、とても盛り上がり楽しかったです。

DAY3

Body Interact のセッションでは virtual simulation を用いた医療面接の練習が紹介されていました。

遠隔での医療面接の練習などに使えそうだな～と思いました！

DAY4

- ・ Cultural Workshop

Afternoon Tea&Mixology Workshop

スコーンとカクテルを一緒に作ろう！という企画。

あらかじめ必要な材料を提示されていて、揃えられた人は各自の家で一緒に作りました。グループの中に宗教的にお酒だめ！とか卵ないよ！って人がいたが、GMがそれらなしでも作れるレシピを提示していました。

- ・ Northern Ireland/Scotland Tour

- ・ Kaplan & Amboss

企業の宣伝

- ・ Group Project

グループ発表の準備。Gather.Town というオンライン交流スペースを利用しながら Google slide に書き込みしていきました。海外の学生たちの自主性・リーダーシップ・創造性に圧倒されつつも食らいつきます。

(4)感想

①防衛医科大学校医学科 5年 原鈴枝

いろいろなイベントが対面式からオンラインに変わりつつある中、1週間という長期にわたるオンラインイベントに参加するのは初めてで、どんなふうに進行していくのかイベント前からとても楽しみでした。

イベントが始まってみて感じたことは、パソコン一つでこんなにも世界を感じられるのか、ということです。主催する UK の方々が用意した動画はとても完成度が高く、大きな講堂で遠くのスクリーンを見るのではなく目の前の画面とスピーカーから参加するイベントは、むしろオフラインイベントよりも近くに感じるのではないかと思います。

その他にもオンラインイベントのメリットはたくさんありました。例えば、参加者はそれぞれの場所からそれぞれのパソコンを使って参加しているので、グループで集まることもより簡単になり、またグループを離れて外の人と関わることもより簡単と感じました。コストの面では、交通費と移動の時間がかからない他、参加費も非常に安く済みました。また日本の TimeZone が GMT+9 であり、UK の方々が夏休みを利用して朝からイベントを開催してくださる中、日本人参加者は夕方~夜にかけてイベントに参加でき、実習と両立することができました。

現地の食事を味わえなかったり実際に参加者の隣に座って話すことはできませんでしたが、コスト面とパフォーマンスを考えると非常に満足のいく充実した一週間を過ごすことができました。AMSC UK は一生の友人と一生の思い出を残してくれました。参加できて本当によかったです。



② 高知大学医学部医学科5年 田中 香

AMSCに参加するのは、3年前の夏にマレーシアで開催時に参加して以来、2度目でした。オンラインの形でのAMSCは初めてで、ちゃんと他国の学生と仲良くなれるか不安を持ちつつも、楽しみにしていました。

今回のテーマは、Trauma Careであり、外傷や外傷後の治療について、イギリスで活躍されている外科の先生方の講義、各参加国による学生の研究発表などが配信されました。外傷がテーマとはいえ、外傷そのものだけでなく、治療後に生じる精神的な問題といった、様々な診療科にまたがるような話もあり、興味深かったです。また、10人程度のグループに分かれ、「宇宙船で起こる外傷にどう対処するか」というお題でディスカッションとスライド発表をしました。これは難しいお題でしたが、グループメイトとインターネットでひたすら調べ物をして、勉強になりました。

このように盛り沢山のスケジュールで学びが得られた一方で、参加者と仲良くなりSNSで繋がることができ、イギリスの景色や食べ物を映像で楽しみながらまったりもできました。私は特に、空き時間にランダムで参加者と繋がり、1対1で5分間話す、イベントページ内のNetworkingというシステムが面白かったです。そしてもちろん、AMSCの山場というべきCultural Nightは、歌、ダンス、コントなど様々あり、コメント欄は盛り上がり、やはり記憶に残るものでした。

何よりも、昼間に大学がありつつ放課後にイベントへ参加できたことは、オンラインならではの、とても楽しい時間を過ごせました。



③自治医科大学医学部医学科 5 年 加藤直人

私にとっては 3,4 回目の AMSA の国際イベントでした。参加する度に感じるのは、彼らの情熱と創造性、発信力がいかに高いか、ということです。「日本人は」「海外では」と一括りにするにはあまりにも多様な人々がいることも確かですが、総じて、（少なくとも AMSA で活動している）海外の学生は自分の意見をまっすぐに言語化して発信することが得意だと思います。それでいて他人の意見も大切にしており、議論が非常に盛り上がりました。私は議論に食らいついていくのに必死でしたが（それなりに食べこぼしもありましたが…）、それでも初めての国際イベントの時と比べると、発言の機会も増え、成長を感じました。議論についていけない悔しさ、自分の意見を伝えられないもどかしさは成長を後押ししてくれると私は思っています。次の機会に向けてまた一段と成長したいと思うとともに、このような貴重な体験をさせてくれた AMSC UK と国内外のスタッフの皆さんに心から感謝します！

④佐賀大学医学部医学科 4 年 南 宏太

今回の AMSC 2021 UK は私にとって初めての国際会議の参加であった。各国の学生が意気揚々と発表しているのを見て、プレゼン力が高いなと感じた。

特に印象に残っているのが Day3 の Body Interact のセッションである。ポルトガルの学生が Virtual simulation を用いた医療面接の練習が紹介していた。日本の医学教育で virtual で練習することはなく、非常に新鮮だった。

今回の国際会議も刺激的だったが、発言に対するハードルはオフラインに比べ高いなと感じた。次回は是非オフラインの学会に参加してみたいと思った。